

## 伊豆半島において、災害時を想定した海上ルートによる TEC-FORCE の派遣訓練及び漁港の活用調査を実施します

南海トラフ地震や大型台風等の大規模災害発生時に、伊豆半島南部への陸路での移動が困難となる場合を想定し、清水港湾事務所の港湾業務艇によるTEC—FORCE派遣訓練等を国土交通省関係機関及び静岡県の連携により実施します。

併せて、災害発生時における海路を活用した物資輸送等の可能性を検討するため、港湾業務艇により伊豆半島西部の漁港の現地調査を実施します。(同調査は初めての実施)

1. 日時 令和2年11月26日(木) 8時00分～16時30分
2. 参加機関及び実施内容
  - (1) 清水港湾事務所
    - ・ 港湾施設の被災状況伝達訓練(港湾の被災状況を海上から目視・撮影)
    - ・ 港湾業務艇により、災害発生時における妻良漁港、田子漁港、安良里漁港、戸田漁港の活用可能性について現地調査を実施(着岸可能施設の調査等)
  - (2) 静岡営繕事務所
    - ・ 下田市内の庁舎被災時現場点検、津波避難訓練(下田地方合同庁舎)
    - ・ 衛星通信等による、海上及び松崎町から静岡営繕事務所への被災状況伝達訓練
  - (3) 沼津河川国道事務所
    - ・ 伊豆半島へのリエゾン派遣訓練
    - ・ 衛星通信による、海上及び松崎町、静岡県賀茂地域局から沼津河川国道事務所への被災状況伝達訓練
  - (4) 静岡県
    - ・ 衛星通信による、海上から静岡県港湾管理事務所への被災状況伝達訓練
    - ・ 静岡県災害情報システムへの登録訓練
3. 港湾業務艇訓練ルート(詳細は別紙参照)
  - ①清水港(清水港湾事務所、静岡営繕事務所、静岡県乗船)
  - ②沼津港(沼津河川国道事務所乗船)
  - ③松崎港(静岡営繕事務所、沼津河川国道事務所は陸路で下田市へ)
  - ④妻良漁港(現地調査)→⑤田子漁港(現地調査)→⑥安良里漁港(現地調査)
  - ⑦戸田漁港(現地調査)→⑧清水港
4. 配布先  
中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞社、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース
5. 問合せ先  
国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所  
総務課長 都田 豊(みやこだ ゆたか)  
Tel 054-352-4146 Fax 054-353-3072  
E-mail miyakoda-y852a@mlit.go.jp

